

連

振り返ろう! クラブのリスクマネジメント! ②

載

NPO法人スポnetなんぶ

緊急時マニュアルの作成を契機に水上安全に関する講習会等を受けて日々の業務に生かしているスポnetなんぶ。さらに今後は実際に行った事故等についての記録化やフォロー体制のシステム化を課題にステップアップを目指しているクラブの取り組みに注目しました。

緊急時マニュアルを導入し、講習会を実施して現場で生かす

クラブでの安全管理マニュアル導入のきっかけは、指定管理の申請をするにあたり、「緊急時マニュアル」の作成が必要となったことが挙げられます。そして、作成したマニュアルに「緊急時の対応」や水上安全に関する「監視のポイント」を掲載しているため、それに関連した講習会を実施することとなりました。

また、指定管理の申請に合わせて、施設の管理運営を行う上で必要な安全面と衛生面を考慮したマニュアルの作成を行いました。このマニュアルは、前任の指定管理者が活用されていたものを参考に事務局で作成し、「緊急時の連絡体制」「安全管理体制」「衛生管理体制」「利用者の健康管理」等の内容についてまとめています。定期研修やOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)を通して計画的にスタッフへマニュアルの内容を共有し、日々の業務の中で生かせるように位置づけています。

スタッフの観察力が問われるリスク管理

●総勢80名のスタッフでクラブを支える

クラブでは、プール・トレーニングジム、入浴施設を備えた「南部町総合福祉センターしあわせ」の指定管理業務のほか、当該施設を活用したスクール運営、施設外での各種クラブ・イベント活動など幅広い事業を実施しています。またこれに携わるスタッフも、常勤スタッフ(指導員・事務局)、パートスタッフ(受付・監視・清掃・送迎)、外部指導者、ボランティア指導者・スタッフなど、総勢80名でクラブを支えています。この状況下で、全スタッフにマニュアルの細部まで徹底させることはなかなか難しい面もありますが、各種講習会等を通して各活動に必要な部分の共有を行っていくように努めているところです。リスク管理は、事故等が起きないように未然に防ぐのが一番です。まず環境に危険な物などがないか。次にプログラムに危険な要素はないか。そして参加者の体調把握が十分にできているか。日頃からの観察力が問われます。スタッフにはこの視点を大切にして業務や指導にあたるように心がけてもらっています。

●救急法指導員のもと、救急法講習会を実施

そうは言ってもいつ事故が起こるかわかりません。万が一に備えて、日本赤十字社鳥取県支部より救急法指導員の方に講師として来てもらい、年1回の救急法講習会をクラブスタッフ対象に実施しています。そこでは緊急時の対応やAEDの使い方、応急処置方法等を勉強します。また、水上安全研修では水上安全法指導員の方を講師として、プールでの溺者の救助法や監視方法について研修をしています。日赤県支部の講習会等に参加したいと思ってはいるものの、指導者のスケジュール調整が難しいため、クラブに来てもらい、講習会を行っている状況です。

また、実際に起こった事故等については、軽微なものでも立会者が事故報告書を作成し、その内容や対応、その後のフォローについて記録をするようにしています。それに基づき必要に応じて対策や予防策を協議したり、スタッフ間で共有し、先方や家庭への声がけをスムーズに行えるように努めています。

記録化やフォロー体制のシステム化が急務

救急法講習会等の研修会では、去年はスタッフ以外にクラブ会員や施設利用者の参加もあり、一緒に研修を受けることができました。まだまだスポーツ少年団など地域の指導者の参加は少ないですが、誰でも参加できるようにしているので少しずつ参加者が増えていけばと考えています。また、会員や利用会員の方の体調管理等の把握に努めるためにも、日頃から積極的なコミュニケーションをとるようにしています。その結果、「スタッフの接客がとてもよい」とお声をいただくことも多々あります。リスクマネジメントにおいて、日頃からの観察力とコミュニケーションスキルがキーになることは間違いありません。

その一方で反省点もあります。施設外の活動になると事務局から距離があることと、常勤スタッフが活動場所にいないため、そこに携わる指導者の対応に懸ってしまいます。指導経験の豊富な指導者の方に携わってもらっているので、応急処置の対応については心配していないのですが、記録化やフォロー体制が十分にシステム化できていないので、その点の徹底を早急にしていく必要があります。

■クラブ内でのリスクマネジメント

内 容	頻 度	対象者
①救急法講習会	年1回	スタッフ・外部指導者・一般
②水上安全法講習会	年1回	スタッフ・外部指導者・一般
③安全管理マニュアル	あり	
④緊急連絡網	あり	



救急法講習会の様子

有事の時には初期対応からフォローまでを迅速・丁寧に

スポーツをする上で、大なり小なりケガなどのリスクはどうしても避けては通れない部分があります。しかしながら、それが起こりうる要因がないか事前に十分に検討して、想定される危険因子を排除しておくのはクラブの責務です。また、起きた時の初期対応からフォローまで迅速で丁寧な対応を心がけることが、クラブの信頼にもつながります。他のリスク等についても同様に考えます。施設外でのクラブ活動やイベントも少しずつ増えてきています。反省点でも挙げた、施設外での活動に携わる指導者の皆様にも、起こった後の記録やフォロー体制を事務局と連携してスムーズにとっていくことができるようにしていきたいと考えています。

(鳥取県クラブアドバイザー／田淵弘子)

現場の声

★受付スタッフ★

「救急法講習会に繰り返し参加することで、再確認ができるのと、事故が起きないように日頃から安全管理に気をつけなければならないと身が引き締まる思いになります」

★会員★

「スタッフの皆さんと一緒に勉強させてもらうことができありがとうございます。定期的に勉強しているスタッフの方もいらっしゃるのて心強いです」

クラブプロフィール

●クラブ概要

南部町内でスポーツをする場合、各種スポーツ関係団体に所属して行うことが多いのですが、組織や団体間の横のつながりと年代間の縦のつながりに欠けるといった構造的な問題を抱えている中で、気軽に体を動かしたい、何か新しいスポーツを始めたいという町民のニーズに応える社会の仕組みが求められています。そこで、誰もが、いつまでも、自分の好むスタイルでスポーツに関わることができる生涯スポーツ社会を構築するために、公設民営型でクラブを設立しました。現在は、25教室(クラブ活動…5、スクール活動…16、フロアプログラム…4)で活動しています。

- 設立年月日：平成24年11月4日(平成25年12月法人格取得)
- 所在地：鳥取県西伯郡南部町地域
- 運営：会員数859名(平成27年12月現在) 予算規模7,500万円(平成27年度)
- 特徴：クラブ活動・スクール活動・イベント活動の3部門に分け、子どもから高齢者を対象にした教室等を企画実施。マスコットキャラクターの「ポネットちゃん」(着ぐるみ)はクラブ事業だけではなく、町内のイベント等にも積極的に参加しています。

連絡先：〒683-0351 鳥取県西伯郡南部町法勝寺331-1
TEL：0859-66-5400 FAX：0859-66-2901
Eメール：shiawase@suponetnanbu.com
ホームページ：<http://www.suponetnanbu.jp>